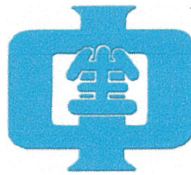


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第10号
(令和元年 6月)

文責 西澤 庄藏

「少年の主張」大会（弁論大会）が行われました。

06/09（日）市内の平戸文化センターにて市内小・中学生代表による平戸市「少年の主張」大会が開催されました。本校から田淵大夢（3-1）さんが出場しました。

事前に原稿を読ませていただきました。自分の体験をもとにした内容に、目頭が熱くなりました。当日も、一言一言に思いを込めた力強い言動に、心が震えました。

同時に、他校の中学生の思いも聞くことができ、有意義なひとときでした。静寂な中に緊張感があり、心地よいひとときでもありました。



←写真は、発表の様子です。

結果は、優秀賞には届きませんでしたが、ミスもなく落ち着いた態度で持てる力を余すことなく発揮でき、清々しさを残すものでした。敢闘賞が授与されました。

市内中学生が一堂に会した「市中総体」陸上競技大会も行われました。

06/14（金）市内のライフカントリーにて平戸中学校総合体育大会陸上競技大会が開催されました。本校から全校生徒の約半数が選手として選抜され、選手宣誓でも述べられた「より速く、より高く、より強く」のオリンピック精神の如く、カー杯各種目に挑みました。

年々生徒数・教職員数が減少している関係で、市内のほとんどの中学校で残留生徒用の授業が成立しなくなったため、今年度から市内の全中学生が応援も含めて一堂に会する大会となりました。

当日は、保護者の皆様には、早朝から、弁当づくりなど、お手数をおかけしました。さらに、平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご来場ご声援いただき、華を添えてくださったことに感謝申し上げます。

私は練習にかかわった関係でフィールド競技の砲丸投げ種目を中心に応援・観戦しました。砲丸投げの結果は惜しくも1位・2位とはならなかったものの、自己ベストを更新する選手もいて、短い期間の練習にもかかわらず、個人の伸びを感じる貴重な機会になりました。

この大会を振り返って、選手はもとより応援員や補助員も「チーム生月中学校」の組織の一人として各々の一生懸命さが伝わり、清々しさが印象に残る良き行動ぶりだったと思いました。本部席からは応援の様子がよく分かり、応援もフィールドプレイヤーの気持ちで自分の役割を全うする姿に感動しました。特に3年生応援生徒は、準備にかなりの時間を費やし、当日もリーダーシップを発揮してくれました。おつかれさまでした。

トラック競技のメインのリレー種目も優勝した学年もありましたが、先に行われた球技・武道の県大会出場が優先されるため、この陸上競技での県大会出場者は、選手選考会を経て決定しますので、結果を今しばらく待つことになります。一人でも多くの選手が「夢舞台」に立てることを願うばかりです。

